

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2006年1月1日から2024年2月28日に原発性マクログロブリン血症で当院血液・腫瘍内科を受診された方

研究対象期間:1996年1月1日～2023年9月30日

■ 研究課題名

「原発性マクログロブリン血症患者の診療録の後方視的検討」

■ 当院の研究責任者(所属)

血液・腫瘍内科 末永孝生

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

血液・腫瘍内科 末永孝生

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

原発性マクログロブリン血症(WM)は稀なリンパ腫で、50代～80代の男性に多く発症します。進行すると腎障害、視力障害、四肢の血流阻害、貧血など多彩な症状を示します。もともとは免疫抑制が強くかかる殺細胞性抗がん薬が治療の中心でしたが、最近では本邦で開発された新規の分子標的薬も利用可能となってきました。ところで、WMについて本邦からの大規模な報告はほとんどありません。そのため、どのような治療が行われ、予後がどうか、本邦のデータが乏しい状況です。当院では年間数例のWMの新規患者が受診しており、これを遡って集計することで、各治療の合併症や予後などを明らかにできる可能性があります。そこで、当院を2006年から2024年に受診した歴のあるWM患者さんを対象とした后方視的検討を行い、電子カルテに記載のある診療記録・検査データなどを利用します。

研究実施期間:2024年3月21日～2025年3月31日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

<情報>

年齢、性別、身長、体重、病歴、検査データ(血液検査、尿検査、画像検査、病理検査、生理学的検査、細胞遺伝学的検査など)、診療録、副作用等の発生状況、画像所見、化学療法実施経過、併用薬剤詳細、有害事象発現時期、死亡時期、最終生存確認時期、病勢進行期、致命的イベント

発生率、等のカルテデータ

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者(所属):大浦光章(血液・腫瘍内科)

電話:04-7092-2211(代)